

民・自・公の3党合意が「国会の決定」になるのはおかしい！

大飯原発再稼働

福島第・原発事故の収束が依然として進まず、穴だらけの「安全対策」の中、「電気料金の値上げなどを阻止し国民の生活を守るため」を口実に大飯原発の再稼働が決定されました。

「電気料金の値上げ」と「計画停電」で国民を脅して、多くの国民が反対する原発再稼働を決めるのは許せません・首相官邸前に集まった・・・万人の「再稼働反対・」の声を聞いて下さい。

国民生活に関わる大切なこと、それを決めるのが国会です。

3党合意で決めたことを、国会で十分に審議をつくさず、ただ承認させるような今のやり方は民主主義の破壊です！

原子力規制委員会設置法

・党合意の後、その中身のまま、わずか・時間の国会審議で成立したこの法律。その附則において「原子力基本法」の方針に「原子力の利用を安全保障に資する」という一文が入りました。

「安全利用だから今までと変わらない」と説明しますが、「国家の安全保障」という解釈から「核抑止力」、つまり核兵器の所有につながりかねません。日本の非核三原則を踏みじるとんでもない中身です・

障害者総合支援法

衆・参両議院合わせて、たった・時間の審議成立したこの法律は、単に「障害者自立支援法」の看板のかけかえです。

「障害者自立支援法により、障がい者の尊厳を傷つけた」という国の反省から廃止が約束されていました。それにも関わらず、新法からは障がい者の尊厳を傷つけた「応益負担」は無くなっていません。「名前が変わったから廃止」では詐欺と一緒にです・

法律の中身を変えられなかったのは、自民党時代に作った法律を残したいという思惑と、「社会保障と税の一体改革」で、社会保障を自己責任にするために、障害者分野に国の責任を明言しては具合が悪かったからです。

おかしい三兄弟



首相！こんなやり方は名前の通り「NOだ！」